

「川崎市立日本民家園」社会科見学に行ってきました！

1月20日（金）に社会科の「かわる道具とくらし」の単元で「川崎市立日本民家園」へ見学に行きました。昔の人々が使っていた道具や住んでいた家などを見て、くらしの工夫や今と昔の生活の違いについて学びました。昔の家の中には、かまど、いろり、馬屋などがありました。いろりに火がついている家では、家中、煙だらけで、子どもたちは、とても驚いていました。しかし、民家園の方から、この煙が家の屋根に使われている藁や茅の虫よけになること、家を頑丈にしていることを教えていただき、昔の人々は、いろいろな工夫をしていることを知り、とても充実した日になりました。



〈児童の感想〉

- 昔のくらしと今のくらしでは、どちらも工夫がされていると思いました。昔のくらしは、食べ物を手作りすることが多く、今のくらしは、お店で買うものが多いと感じました。
- キッチン、今は、ボタンをポチポチするだけなのに、昔は、火をつけるのにも時間がかかっていたのだと思いました。
- 昔の道具の工夫があるから、今の道具も昔の工夫を残しつつ、進化していると思いました。

～初めての書き初め～

体育館で、書初めをしました。新聞紙をたくさん敷き、用紙を準備して目をつぶってぎ集中！始筆、終筆、字のバランスに気を付けて、「友だち」を書くことができました。自分らしいすてきな字となりました。

友
だ
ち

友
だ
ち



～光と色のファンタジー～

図工で、光と色の組み合わせを考えて作品を作りました。形を考えたり、光にあてながら色の組み合わせを考えたりしながら作品作りを楽しみました。光が当たると、色セロハンがきらきら光ったり、重ねた色セロハンが虹色のように見えたりします。太陽がいっぱい降り注ぐ日は、子どもたちは窓側の作品を見て、「きれいだな！光の国にみたい！」とうっとりしています。

友
だ
ち

